

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)向日市寺戸修理式計画

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

スコアシート		実施設計段階				全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						
Q1 室内環境						
1 音環境		3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能		-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音		-	-	-	-	
2 温熱環境		2.6	0.35	2.6	1.00	2.6
2.1 室温制御		3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温		3.0	0.63	3.0	0.63	
2 外皮性能		3.0	0.38	3.0	0.38	
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		3.3	0.25	3.4	1.00	3.4
3.1 曜光利用		4.2	0.30	3.4	0.30	
1 曜光率		5.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口		-	-	1.0	0.30	
3 曜光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策		3.0	0.30	4.0	0.30	
1 曜光制御		3.0	1.00	4.0	1.00	
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63	
1 化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		3.0	0.40	3.6	0.38	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理		-	-	-	-	
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	
2 噴煙の制御		-	-	-	-	
Q2 サービス性能		0.30	1.00	1.00	2.8	
1 機能性		2.8	0.40	2.6	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ		4.0	0.40	3.0	0.60	
1 広さ・収納性		-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	1.00	
3 パリアフリー計画		4.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40	
1 広さ感・景観		-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性		2.9	0.30	-	-	2.9
2.1 耐震・免震・制振		3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数		3.1	0.30	-	-	
1 軽体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		4.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性		2.8	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備		2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性	3.1 空間のゆとり	階高2.9m以上	3.0	0.30	3.1	1.00	3.0
	1 階高のゆとり		-	-	3.2	0.50	
	2 空間の形状・自由さ		-	-	4.0	0.60	
	3.2 荷重のゆとり		-	-	2.0	0.40	
	3.3 設備の更新性		3.0	1.00	3.0	0.50	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 節気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出			-	2.0	0.30	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			-	3.0	0.40	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			-	3.0	0.30	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			-	3.0	0.50	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			-	3.0	0.50	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 エネルギー					0.40		
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.20	-	3.0	
2 自然エネルギー利用			-	3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化			-	2.7	0.50	-	2.7
4 効率的運用			-	3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
集合住宅の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	3.4	
1.1 節水		節湯水栓・節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			-	3.0	0.70	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無			-	3.0	0.30	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.3	0.60	-	3.3	
2.1 材料使用量の削減			-	2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			-	3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニール床シート、地域産木材	-	4.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	3.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能(LGS+PB)	-	4.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	3.0	
3.1 有害物質を含まない材料の使用			-	3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			-	3.0	0.70	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			-	3.0	0.50	-	
3 冷媒			-	3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.9
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率94%		3.2	0.33	-	3.2	
2 地域環境への配慮			2.3	0.33	-	2.3	
2.1 大気汚染防止			-	3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			-	2.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			-	2.5	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減			-	3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制			-	3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制			-	3.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			-	1.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	3.2	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			-	3.0	0.40	-	
1 騒音			-	3.0	1.00	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、沙塵、日照阻害の抑制			-	3.0	0.40	-	
1 風害の抑制			-	3.0	0.70	-	
2 沙塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			-	3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制		光害チェックリストの過半を満たす 広告物照明なし	-	4.4	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			-	5.0	0.70	-	
2 基礎の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	3.0	0.30	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

(仮称)向日市寺戸修理式計画

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13														
Q2 サービス性能																													
1.2.3 内装計画																													
1.3.1 維持管理に配慮した設計	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-														
2.4.1 空調・換気設備	4.0	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	○	-														
2.4.2 給排水・衛生設備	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
2.4.3 電気設備	2.0	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
Q3 室外環境(敷地内)																													
1 生物資源の保全と創出	5.0	-	-	2.0	-	1.0	-	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-														
2 まちなみ・景観への配慮	3.0	2.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-														
3.2 敷地内温熱環境の向上	9.0	-	1.0	1.0	1.0	-	2.0	-	2.0	-	2.0	-	-	-	-														
LR1 エネルギー																													
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
LR2 資源・マテリアル																													
1.2.2 雨水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
2.3 転体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
LR3 敷地外環境																													
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-														
2.3.3 交通負荷抑制	2.0	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	1.0	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	2.0	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-														
主な指標																													
Q1 室内環境																													
2.1.3 外皮性能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>窓システムSC</th> <th>-</th> <th>窓の日射熱取得率(η)</th> <th>-</th> </tr> <tr> <th>U値(W/m²K)</th> <th>窓システムU値</th> <th>屋根</th> <th>外壁</th> <th>床</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住戸部分</td> <td>窓システムU値</td> <td>外皮UA値</td> <td>η_{AC}</td> <td>η_{AH}</td> </tr> </tbody> </table>															窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-	U値(W/m ² K)	窓システムU値	屋根	外壁	床	住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η_{AC}	η_{AH}
窓システムSC	-	窓の日射熱取得率(η)	-																										
U値(W/m ² K)	窓システムU値	屋根	外壁	床																									
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η_{AC}	η_{AH}																									
3.1.1 曙光率	0.0%	自然換気有効開口面積率	0.0%																										
4.2.2 自然換気性能																													
Q2 サービス性能																													
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース	.0m ² /人	病床	.0m ² /床	シングル	.0m ² ツイン	.0m ²																						
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量	0.0 VA/m ²																											
1.2.1 広さ感・景観	天井高	0 m																											
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース	0.5%	レストスペース	2.0%																									
2.2.1 転体材料の耐用年数	想定耐用年数	30 年																											
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔	20 年																											
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔	0 年																											
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔	0 年																											
3.1.1 階高のゆとり	階高	0 m																											
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率	0.0%																											
3.2.2 荷重のゆとり	床荷重	- N/m ²																											
Q3 室外環境(敷地内)																													
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指標	25%	建物緑化指標	0%																									
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率	46%	水平投影面積率	19%	地表面対策面積率	11%	舗装面積率	0%																					
LR1 エネルギー																													
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPlm	- 断熱等性能等級	等級3 相当																										
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年m ²	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%																							
LR2 資源・マテリアル																													
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率	0.0%																											
2.4 転体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-																							
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率	0.0%																											
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)																											
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)																											
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)																											
LR3 敷地外環境																													
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比	155%	隣接間隔指標Rw	0.40																									
	地表面対策面積率	25.0%	屋根面対策面積率	10.0%	外壁面対策面積率	#DIV/0!																							
	見付面積Sb	1,408m ²	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	87.89 m	基準高さHb	10.27 m																							
	緑地	178m ²	水面	m ²	保水性対策面	m ²	高反射対策面	200m ²	再帰性反射対策面	300m ²																			